

ひがし

No. 253

56 12 / 20

広報

しらかわ

人口の動き

—11月末住民登録人口から

世帯数	938
人口	3,738
転入	13
転出	10
出生	4
死亡	3

先月と比較して4人増
昨年と同月と比較して26人減

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中野



11月11日、来春小学校へ入学するこどもたち31人を対象に、就学時健診が行われました。会場の東白川病院にはお母さんたちに手をひかれたチビっ子らが集まり、内科検診や歯科検診など元気に受けていました。

もうすぐ
1年生

—内科検診を受けるこどもたち。東白川病院で

おもな内容

- 体育施設の利用状況…P 2～
- 56年のできごと…P 4～
- 第2回産業祭のもよう…P 6
- 東白川小が健康優良校に…P 7
- スポーツ…P 8
- 国保だより…P 9
- 村誌通史編3月に発刊…P 10
- 新刊です…P 11
- カメラの目…P 12
- けいじ板はP 6～7の下欄

4月
5月
10月

利用者は延べ二万四千余人余り

こんなに使われています

村内の体育施設

◇ ことしの春、越原と五加の運動場が設置され、村内の体育施設は学校開放施設を含めて十か所になりました。四月から十月までの七か月間に、これらの施設を使用した人は延べにして二万四千五百七十六人。本村全住民が六・五回ずつ使用したという試算が成り立ちます。スポーツ熱が高まる中、これらの集計結果をグラフを中心に紹介してみましよう。

屋外施設のトップは総合運動場

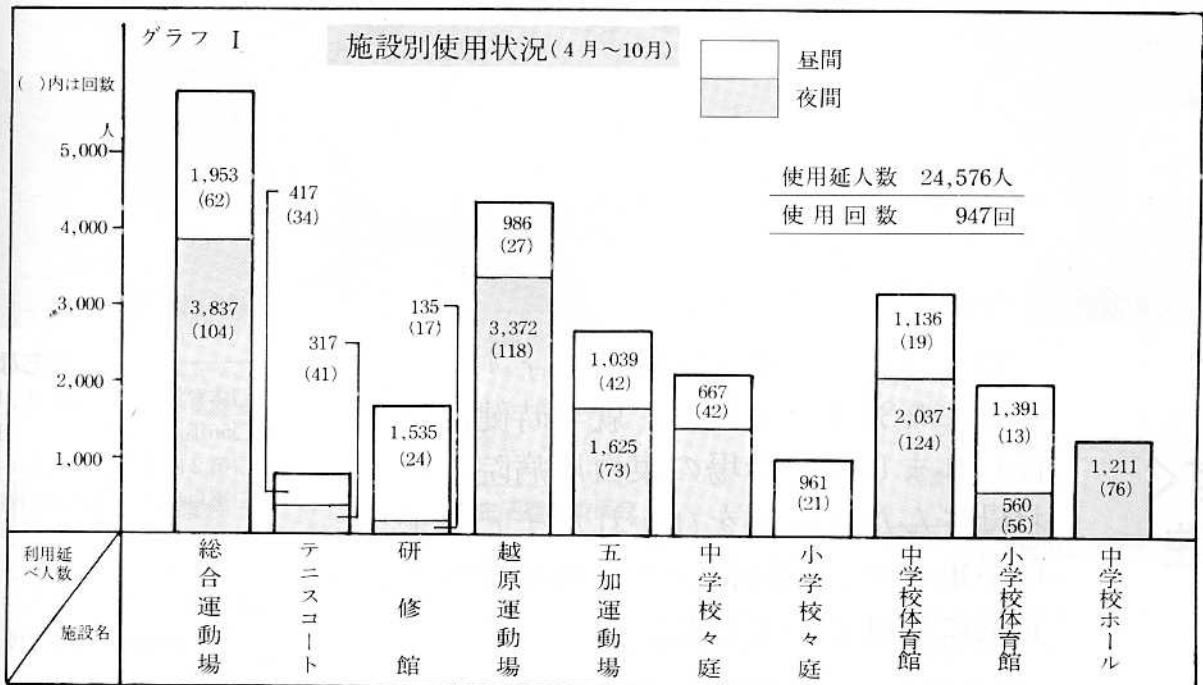
◇ グラフIは、各施設ごとに使用人数、回数を昼夜別に集計したものです。屋外施設では多目的利用が可能な総合運動場がトップで、昼

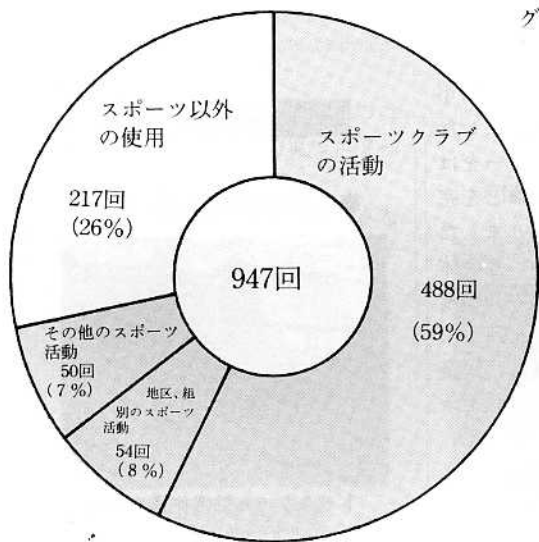
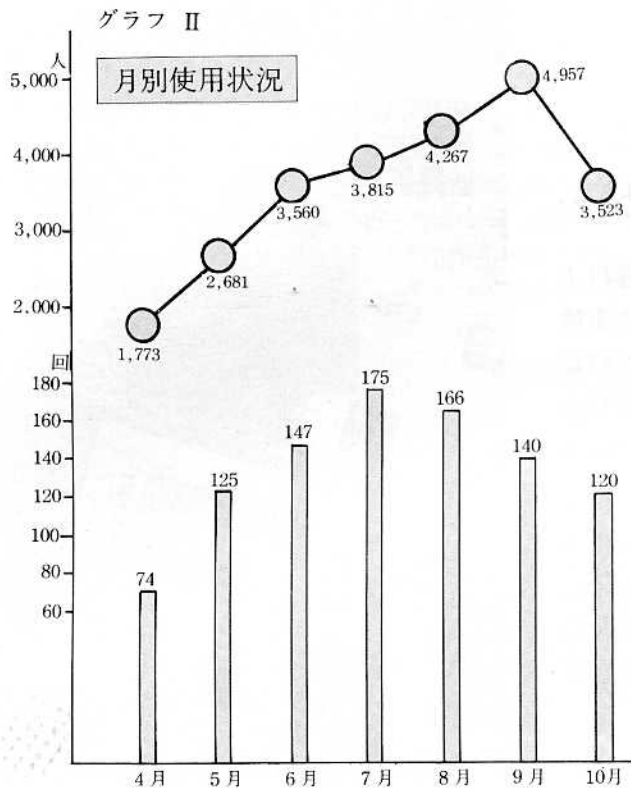
夜合わせての利用回数は百六十六回、延べ人数は五千七百九十人となっています。次いで、旧越原、五加の小学校を衣替えして、この春オープンした両地区の運動場も順調な利用状況となっています。両施設は、地元の人たちの使用が主体ですが、ときには地区間の交流試合を交えるなど、幅広く利用されています。

大きな行事は小学校体育館で

◇ 屋内施設では、従来から活用されてきた中学校体育館が一番利用されています。ことし二月末に完成し、四月から社会体育に開放されている小学校体育館もまずまずの利用状況ですが、利用料金がやや高いため、新しいにもかかわらず、中学校体育館に差をつけられています。また、両体育館の利用状況をみて気がつくのは、中学校の場合には夜間の利用が多く、逆に小学校では昼間利用が多く、夜間利用が少ないということです。これは、夜間など余暇を利用してスポーツなど、おもしろく練習

使用延べ人数 24,576人
使用回数 947回





するのが中学校体育館で、大きな大会、たとえば郡の行事を行うなどは、新しく大きい小学校体育館で行うという傾向があるためです。

このことは、利用人数と利用回数の関係と比較すればよりはっきりとわかります。

小学校体育館では圧倒的に昼間利用の人数が多くなっていますが、利用回数は夜間の四分の一にも満たない状況です。先にも述べたように、一回の利用で多くの人が利用しているのは

多い夜間利用
照明は不可欠

今回調査した体育施設は、スポーツ活動のほか、消防団の利用や文化的な活動にも利用されていますが、一部を除く、多目的に利用できる施設の利用が回数、人数ともに多くなっています。

また、昼と夜を比べてみると、人数では大差はないものの、回数では夜間が圧倒的に多く、夜

間活動がいかに盛んであるか、そして照明施設がいかに重要であるかがうかがわれます。

成果を上げた
使用調整会

グラフIIは、使用人数と回数をも月別に表わしてみました。四月からうなぎ登りに上昇し、九月がピークとなっています。ちなみに、七月から九月までの三か月間の利用者は一万三千三十九人。十五人編成のソフトボールチームが八百六十九チー

体育活動以外
にも活用して

ムもできることとなります。夏季はいろんな大会や各種団体の行事が集中し、希望どおりの利用ができないこともあつて、ことしから使用調整会が毎月開かれ成果を上げました。今後、行事や大会そして活動時期などの効果的な配分が必要となつてきそうです。

グラフIIIは、使用内容を示したものです。ソフトボール、野

みんなの施設
いつまでも美しく

このように、村内の体育施設はみなさんの多目的な活用をささえていくれます。

競技技術の向上とともに、施設の使用マナーも向上していますが、あき缶やたばこの吸い殻などが、ときに目につくことがあります。

シーズンが終わった十一月には、各団体や地域のみなさんが自主的な施設整備をされました。みんなの施設です。使用後は美しく清掃するとともに、まず汚さないという心構えを養って、いつまでも美しく保ってほしいものです。

この一年

56年にはこんなことが...

昭和56年もあとわずかで暮れようとしています。厳しい財政事情の中で、ことからは村づくり総合計画に着手し、効率的な事業運営に努めてきました。9月からはほ場整備事業もスタートし、新しい農業に向かっての第1歩を踏み出しました。この1年、どんなことがあったか……、もう1度ふり返り、おもなできごとを再現してみました。



3 月

越原・五加運動場が完成



夜間、ソフトボールを楽しむ人たち

小学校統合によって廃校となった越原と五加小学校が衣替えした地区運動場が3月20日に完成。

両施設ともにコインで点燈するというユニークな照明装置を備え、夜間の利用者がグンと増えました。

グラウンドの広さもまざまざで、10月には両地区の区民運動会が開かれるなど、地域ぐるみの利用もできるようになりました。

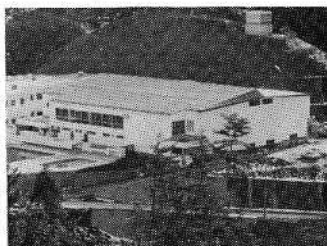
55年8月にスタートした東白川小学校体育館が2月末に完成しました。

約930平方メートルの広いフロアーをはじめ、シャワー室、更衣室などを完備したモダンな体育館となりました。学校教育上の活用のほか、社会体育の分野に開放され、夜間の利用度も高くなっています。

最近ではスポーツ活動のほか、民踊など文化活動面の利用がめだちます。

2 月

小学校体育館が完成



広さを誇る東白川小体育館

1 月

豪雪で連日の除雪作業



トラクターも除雪作業に一役

ことしのスタートは、近年にない豪雪に見舞われました。

幸い雪による建物の被害などはなかったものの、野も山も白銀の世界となりました。

交通網としての道路の積雪も多く、各地区ともに連日雪かきをしなければならない状態。人力による除雪作業にかわってトラクターなどが村内のあちこちで一役買いました。

5 月

東白川小の竣工式



記念行事では風船を大空へ

昨年4月に開校し、7月にプールが、そしてことし2月に体育館が完成し、一連の施設が整った東白川小学校の竣工式が、5月5日に行われました。

午後からの記念行事では、全校児童がヘリウム詰めの風船を飛ばしたのをはじめ、名古屋女子大学高等学校吹奏楽部・マーチングバンドによるすばらしい演奏が花を添えました。

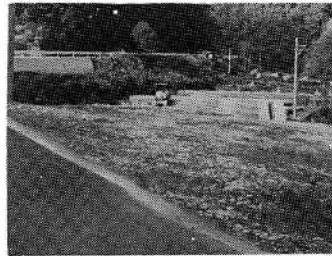
村の守りをより強固なものにしようとして、4月1日から可茂消防事務組合へ加入しました。

10月には本村と七宗町、白川町を管轄する東消防署が白川町地内に完成し、本格的業務を開始しています。

本村内に分遣所が設置されるのは昭和57年10月の予定で、現在平地内でその敷地造成が行われています。

4 月

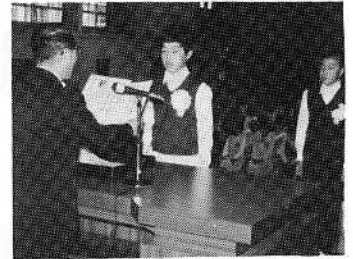
常設消防組合へ加入



敷地造成が進む分遣所予定地

3 月

東白川小初の卒業式



53人を送り出した初の卒業式

東白川小学校初の卒業式が、3月25日に行われ、昭和43年4月2日から44年4月1日の間に生まれた59人に、野村校長から卒業証書と在校中の思い出などを書いた色紙が手渡されました。

また、大勢の来賓の前で、全校児童による校歌（作詞大坪久美、作曲越原一郎）がひろうされました。

局地的な豪雨などによる河川のはんらんや災害に備えて防災モニターを設置しました。

モニターは大明神の田口勉夫さんと神付の村雲康平さんのお二人。モニター宅には雨量計がセットされ、台風や豪雨時に必要に応じて連絡をとりあって防災体制を強化しようというものです。

今後の活躍が期待されます。

9 月

防災モニターを設置



村雲康平さん



田口勉夫さん

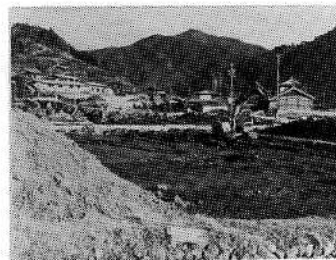
2年余りの準備期間を経て、本村の新しい農業の足場固めとしてのほ場整備事業がスタートしました。

ことしの実施地区は日向地区4.4畝。来春1月末の完成をめざして、現在急ピッチに工事が進められています。

昭和57年度以降も村内各所ではほ場整備が進められる予定ですが、地区のまとまりで実現させたいものです。

9 月

ほ場整備スタート



急ピッチで工事が進む日向地区

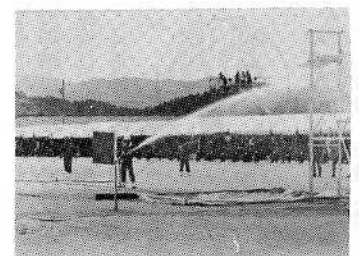
第30回岐阜県消防操法大会が8月2日、恵那郡山岡町で開かれました。

ことしは自動車ポンプの部の大会で、県下各都市で勝ち残った32チームが参加。本村からも郡大会で優勝し、加茂郡代表となった第1分団自動車ポンプが出場しました。

すべてを235秒の厳しい基準タイムにかけて健闘し、上位入賞は逃したものの敢闘賞を獲得しました。

8 月

消防県大会で健闘



敢闘賞を受賞した本村チームの操法

にぎわいました — 第2回産業祭

人出は延べ1,000人

第二回東白川村産業祭が十一月二十三日、村民センターと役場前広場で行われました。村、農協、森林組合、商工会、各種団体らの共催で開かれたこの行事には、農林商工あらゆる分野の展示と即売コーナーが設けられ、各コーナーともににぎわいました。また、正午からは村民センターで第六回芸能発表会も行われ、村文化協会所属の七団体が、日ごろの練習の成果を発表していました。



村民センター農業研修室では農産物品評会（写真）が開かれ、村内各農家から自慢の大根や大豆、小豆など三百点余りが出品されました。また、この農産物は入札方式で即売され、入念に品定めする人のにぎわいました。

芸能発表会には、詩吟、民謡教室、民謡、木せい会、かじか合唱団、三味線、音楽の7団体が出演。約3時間にわたって熱演し、150人余りの聴衆を魅了しました。

写真は東白川民謡クラブの元禄花見おどりー村民センター大集会場で

けいしばん

■戸籍の窓(11月)敬称略



誕生おめでとう
ございます

(加舎尾) 田口和道 大介

成子 長男

(平) 安江政辰 朋也

英子 長男

(平) 今井秀夫 るり子

つね子 長女

(天沢) 今井泰博 理枝

桃子 長女



いつまでも
おしあわせに

村雲 義英 (中谷)
安江千恵子 (黒瀬)

村雲 初夫 (日向)

土川 和恵 (加子母村)

安江 昇 (加舎尾)

加納由美子 (岩村町)

安江 隆明 (栃山)

日下部優子 (加子母村)



おくやみ
申しあげます

早瀬 千恵 76歳 (上親田)
桂川 虎雄 98歳 (陰地)

東白川小が 健康優良校に

季節にあわせて体力づくり

このほど、東白川小学校が、県下中規模校の部で健康優良校と歯の健康優良校準県一位に選ばれ、表彰を受けました。ここで、同校の日常の健康管理の一端を紹介し、あわせて家庭内におけることものの健康をみなさんに考えていただきたいと思ひます。

岐阜県学校保健研究大会が、十月二十五日古川町で開かれました。席上、本村の東白川小学校が中規模校の部で健康優良校

として表彰を受けました。保健安全計画に基づいた体力づくり、保健指導、安全指導、環境整備、学校給食などの指導

が実態にそって行われていることが認められたものです。

東白川小学校では、裏山の遊びの森でアスレチックや冬期はスキーをしたり、また、なわとび大会やマラソン大会などの体力づくりを目的とした催しが季節にあわせて行われています。

保健指導では、地域性をふまえて村学校保健会、学校、父兄らが一体となってことものの健康を考え対処しています。

学校では保健だよりなどを学級指導に利用するほか、各家庭への連絡の手段として活用しています。また、児童の保健委員会も、保健安全目標、行事にあわせて活発な活動をしています。校内安全面では、月一回全職員による点検が行われ、不良箇所はその都度検討し直していま

す。

そのほか、交通安全指導として、月二回の登下校時の指導をはじめ、交通教室を年二回開催するとともに、昨年結成された交通少年団の活動を通じ、児童からの交通安全意識の高揚を図っています。

歯の優良校でも 準県一位に

東白川小学校は、健康優良校の表彰に続き、歯の健康優良校としても準県一位に選ばれ、十一月二十九日の岐阜県歯科研究大会の席上、表彰を受けました。

歯科保健活動が計画的に行われているか、ことものの口の中の状態——虫歯が少なく、しかも処置がなされているか……などが選定規程になっており、三次審査では五年生が対象で、実地審査を受けました。

小学校は、昨年四月に神戸、越原、五加の旧三校を統合して開校し、まだ歴史は浅いわけですが、従来行ってきた食後の歯みがきやうがいなど、地道な活動が積み重ねられて今回の表彰につながったといえます。

今後ともこうした実績に恥じないよう努力を重ね、より健康な学校として育ってほしいものです。

今井 志き 89歳(大 沢)

■善意の寄付

次のような寄付がございました。それぞれのご意志にそって活用させていただきます。

■敬称略

『社会福祉施設費へ』
現金三万円—早瀬新二(上親田)、同五万円—島倉正量(下親田)

『東白川小学校へ』

陶器飾つぼ一個—林初美(瑞浪市)、竹ぼうき四十本・ぞうきん九十枚—老人クラブ高砂会、科学雑誌ニュートン一年分—伊藤隆吉(東京都)、生徒用図書百三冊—中学校PTA

『公民館図書室へ』

図書二冊—沢木きしの(平)
同一冊—田口良三(中谷)
同一冊—安江益良(柏本)
同一冊—井戸和世(久須見)
同一冊—石神とみ枝(平)
同一冊—越原小PTA記念誌編集委員会、中国画報一年分—木村成人(上親田)

■表彰

県教育功労者の表彰式が十一月二十一日に岐阜市で開かれ、小学校の鈴木益三先生と中学校の山田富彦先生が表彰を受けられました。



食後の歯みがきもむし歯予防に大切

スポーツ

大明神Aに栄冠

村民親ぼく卓球大会

ことしで十二回目を迎えた村民親ぼく卓球大会が、十一月十二日、東白川中学校体育館で行われました。

大会には各地区でチーム編成した九チーム、四十五人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。ことしは個人戦を行わず、団体戦だけを行い、接戦のすえ大明神Aチームが優勝を果たしました。

卓球は、ソフトボールをはじめとするほかのスポーツ種目にも



優勝した大明神Aチームのメンバーたち―中学校体育館で

比べ、最近その熱が低くなってきており、年々参加チームも減ってきています。そんな中で開かれたことしの大会では、参加者全員による勝敗を度外視したダブルス戦が盛

第17回加茂駅伝大会 堂々の5位入賞

第十七回加茂駅伝大会が十二月六日、八百津町八百津小学校から、美濃加茂市西中学校までの六区間、二十、四で開

催され、本村体育協会からも一チームが参加し、一般部の五位に入賞しました。今大会には一般の部に十九チーム、高校の部に十七チームの例年になく多くの参加があり、盛り上がりました。本村チームは毎年参加し、上位入賞を続けています。ちなみに本村チームのタイムは一時間十一分十八秒で

り込まれ、終始なごやかなムードの大会となりました。

「気軽にだれもが楽しめるスポーツとして、来年はより多くの人に参加してもらいたい」と関係者らは話していました。

当日の成績は次のとおり。

- 優勝 大明神Aチーム
- 準優勝 大口・西洞チーム
- 三位 平中チーム
- ” 大明神Bチーム

8チームが健脚競う 村民駅伝大会

また、二区では内木正男さんが区間賞を受けられました。

また、加茂駅伝より一足早く村民駅伝大会が十一月十五日に行われ、村内各地区で編成した八チームが参加。中学校から陰地までの往復九区間をコースに健脚を競い合いました。

- 成績は次のとおり。
- 優勝 大沢・柏本チーム
- 準優勝 平チーム
- 三位 日向チーム

村軟式野球リーグ戦終わる

ラッキーがサヨナラ勝ち

通算4度目の優勝

第七回東白川村軟式野球連盟リーグ戦は、四月二十四日にスタートし、秋も深まった十月三十日に予定の六十六試合を終了しました。

その結果、ラッキーチームと役場Aチームが九勝一敗一分の同率でプレーオフとなりました。優勝決定戦は十一月九日に行われ、一対一で迎えた最終回、ラッキーチームがサヨナラ勝ちし、通算四度目の優勝を飾りました。今年度の成績は別表のとおりです。各チーム、来シーズンもがんばってください。

成績	チーム名	戦績
優勝	ラッキー	9勝1敗1分
準優勝	役場A	9勝1敗1分
3位	オールスターズ	9勝2敗
4位	平西	7勝3敗1分
5位	ベアーズ	7勝4敗
6位	飛龍	6勝4敗1分
7位	東白川壮年	4勝6敗1分
8位	☺ファイターズ	4勝6敗1分
9位	役場B	3勝7敗1分
10位	五加スポーツクラブ	2勝9敗
11位	バッファローズ	2勝9敗
12位	太陽	10敗1分

スポーツ

保険証が 変わります

国民健康保険

私たちの暮らしの中には、予測できない事故や病気がたくさんあります。そんなとき、三割の自己負担金で医療を受けられるのが国民健康保険制度です。この制度に加入している「あかし」として被保険者証（保険証）が交付されます。

国保の保険証は、社会保険などと違って、有効期限は二年です。ですから、二年ごとに新しいものが交付されるわけです。現在みなさんが使用しておられるピンク色の保険証は、昭和五十五年一月一日に交付されており、この十二月三十一日で有効期限がすぎます。

五十七年一月一日からは新しい保険証（うぐいす色）に変わります。この保険証は十二月末までに、組長さんを通じてみな

さんのお手もとへお届けしますので、古いものは一月になってから組長さんへ提出してください。

なお、今回お届けする保険証は五十七年三月三十一日までの有効期限となっています。これは、五十七年度から実施することになった、住民サービス向上のための住民情報システム導入により、各世帯の番号が変更になるからです。

これに伴って国保被保険者証の番号も変更になり、四月一日からはもう一度新しい保険証が交付されます。

紛失したり破ってしまったりで再交付を受ける人が相変わらず多いようです。

原則としては再交付できませんが、休日や夜間などに急病となったが保険証が見当たらない！再交付して！！といわれてもできないことがあります。

こんなことのないよう、保険証は大切にしよう心がけてください。

昭和57年1月からは
新しい保険証を出してね！



保険証を大切に
保険証は大切なものですが、

顔見知りになったからといって、顔パスだけで国保の診療は受けられません。ご注意ください。

顔パスは困ります

お医者さんにかかるときには必ず保険証を持参し、受け付けへ提出してください。



胸やけ

飲んだり 食べたり

を控え目に

暮れから正月にかけての年末年始は、ともすると食べすぎや飲みすぎから、胃はオーバーワークを強いられ、「働き疲れ」から胸やけを起こしがちです。みぞおちのあたりに、胃から突き上げてくる焼けるような鈍い痛み——これが、胸やけの一般的な症状です。



胸やけは、ふつう胃の中の酸つまり胃酸が増え、食道を逆流するため起こることが多いといわれていますが、逆に胃酸が少なくて起こる場合もあります。いずれにしろ、胸やけで苦しむときには、しばらく飲んだり食べたりするのを控えて、胃に負担をかけないようにすることが大切です。

ですから、食事はなるべく消化のよいものを少量とるか、一回抜くのも胸やけには良い「治療法」です。

胃カイヨウや十二指腸カイヨウにかかっているときも、胸やけが起きます。たびたび胸やけ

の症状があるようでしたら、病気に対する「警戒信号」として、医師の診断を受けましょう。

ふだんの生活では、胃が疲れたと感じたら、食事を控え目にするとともに、規則正しい生活を心がけることが大事です。また、コーヒー、たばこ、アルコール類も胃酸の分泌を促す作用がありますので、控えるようにしましょう。

小・中学生の作品

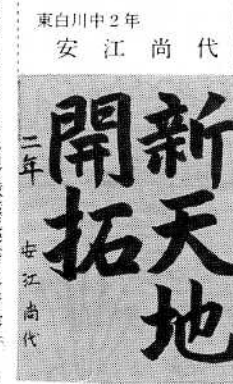


東白川小5年 木村 朋人



東白川小4年 藤井 幸代

小・中美術展から
11月1～5日 村民センター



東白川中2年 安江 尚代



東白川中2年 村雲 一元

申し込みはお早めに

村誌「通史編」三月に発行

昨年十月に発行された新修東白川村誌「史料編」に続き、今度は「通史編」が刊行されることになり、現在印刷が進められています。

史料編はむづかしくて読みづらい——などの声が聞かれましたが、通史編には広報でもおなじみのふるさとに伝わる伝説や民話をはじめ、小さいこともきんにも興味深いものがたくさんあります。

そのほか、写真を四百四十五点（口絵写真は別）、図表二百

七十六点などをふんだんに盛り込み、中学生の社会科の学習にもきつと役立つことでしょう。通史編の発行は来春三月上旬の見込みです。ただ今予約申し込みを受け付けています。予約申込書は組長さんを通じて各戸に配布します。ご希望のかたはパンフレット内の申し込みハガキに希望部数と住所、代名をはつきりと書いて、組長さん経由または直接役場へ提出してください。

価格は一部四千元（送料別）

で、申し込みの期限は一月末日です。限定版ですからお早めに申し込んでください。

村誌についてのおたずねは、役場の企画財政係（有線二一八五番）へ

有線番号簿が新しくなりました

相互連絡と情報源として、有線放送電話は多くの人に利用されています。毎年新設されたり廃止されたりで番号が変動しています。そのため、このほど内容を一新した番号簿が村の商工会青年部のみなさんのご協力で完成しました。

今月中に各戸へ配布します。大切に使うてください。



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

村祭り練り来る神楽に背の子は身を固くして太き息する
一つづつ栗の渋皮むきながら孫の訪れ心待ちする
桶口きよみ

落花生掘ればぞろぞろ臍の緒をつけし姿に連なりて出ず
街なかを流るる水に屈みつつ大根洗へる人の咳く
安江 澄

草蔭に寒き凌ぐかかまきりが鎌をたたみて身動きもせず
栗ご飯まだ焚き干せぬ昼餉時子供御輿が賑かにゆく
安江 節子

孫たちも喜ばぬとは思へどもあけびを挽きて帰る畦道
婦人ソフトの練習に熱入りし頃照明灯下のベンチに露置く
田口 こと

しらしらと明けくる朝は月夜より明るくなり霜に立つ木々
幼な日に礎にて打ちし傷痕の遺る庭木も吾も老いけり
大坪 広子

湯加減を問ふ声優しき嫁ありて霜夜の風呂になほ温かし
鳥羽の海やや風立ちし釣舟に無人の鳥の松籟を聴く
田口 圭二

畑隅に伸び采けたる独活の木の鼠の眼に似る黒きつづら実
さかり犬しきりに吠ゆる夕暮れを時雨降り来ぬ落葉まじへて
安江と志江

新しき年も励まむこの国の優しき情を継ぎゆく歌に
選者より
田口 良三

●この号の掲載は順序不同ですがみな佳い歌と思います
新顔の方が増え、嬉しいことです。新旧に拘らず出詠をお続け下さい。毎月十五首位より掲載できないので、幾らか厳選にはなるが勉強になります。



うさぎの勲章

和田秀夫

著者は「情熱の教育家」で知られた元、郡上郡奥明方村奥住小学校の校長先生で、終戦後へき地教育に功績を上げられた岐阜県教育界では有名な先生です。敗戦という混乱の中で、1人の落ちこぼれのない子供を育てるため生涯教育に努力されました。そして8年間、泥んこ校長の名のごとく自らの体験を記録した本です。

多くの実践の中で、その1例として、理科の教材にうさぎを飼い農林大臣賞県知事賞をうけ文庫も誕生しました。

『消費1点張りの子供』からみれば今の時代は…と思われるかも知れませんが、今少し過去をふりかえって見てはいかがでしょうか。そんな意味で選んでみました。(田)

新刊です — 中央公民館図書室

郷土の民俗

— 村誌編さん室だより



衣の自家生産(その一)

衣は古く原始の時代には獣皮を用いたと伝えられ、後には野生の藤や蔦(つた)などの繊維を使って布を作るようになったが、麻の栽培が普及するにつれ、衣の原料はもっぱらこの麻に頼るようになった。

麻は五月ころに種まきをする。麻には枝が出るのが禁物で、できるだけ背丈が長く、茎の太さは女の小指くらいのものが上等とされた。

麻布の製法は、八月下旬に刈り取った麻の茎が大がまで蒸し、皮をはいで陰干しにする。これを皮麻(からそ)といい、冬の農閑期になると寒水に浸してやわらかくし、荒皮を取ってさら

にこれを煮て、たいたたりもんだりして繊維をほぐし、糸状にしたものによりをかけ「かせ」にする。

それをまた灰のアク汁で煮て木槌でたたき、水洗いして麻糸ができ上る。この麻糸を使って地機(じばた)自家用機織(はたおり)機で織り上げたものが麻布である。

麻布の特徴は、繊維が強く洗えば洗うほど生地がじょうぶになるといわれ、これをさらして白くしたり、染色して衣服などを作った。また、麻の繊維からは畳糸やつり糸をはじめ大小さまざまな麻なわなどが作られ、今でもその用途は広い。

木綿(きわた)は、五月の始めに種をまく。八月初めから花

が咲き、九月十月に実を結ぶ、やがてその実が四つに割れて白い綿が吹き出る。これを早く出たものから雨に当たらないうちに摘み取って天日で乾かす。干し上がった綿はまとめてロクロにかけて種を取り去り、これを綿打ちして細い糸に紡ぎ、かせにして好みの色に染め上げた。

染料は古くは山野に自生する草木を原料としたが、その後村に紺屋(こうや)染物業者)ができてからは、これに託すことが多かった。そしてこれらの染色された綿糸を使って、無地やしま柄など、自家用の反物を作った。

— つづく —

▽今月の料理



大根しらたきと肉だんごの煮物

【材料】大根…七百g、しらたき…一袋、合いびき肉…二百五十g、玉ネギ…小一個、ニンジン…小一本、卵…一個、大根葉…少々、パン粉…一匁

【作り方】①しらたきはゆでて食べよい長さに切る。大根は大きめなそぎ切り、ニンジンは皮をむいて小さめのそぎ切りにする。②玉ネギはすりおろして軽く汁けを切り、ひき肉に卵、パン粉、塩小さじ二分の一とともに加えて練り混ぜ、うずら卵大の大きさに丸め油で揚げる。③油大さじ四で①をいため、水三・五匁、しょうゆ大さじ五、酒大さじ二で調味し、煮立ったら弱火にして十分ほど煮る。肉だんごを加えてさらに七〜八分煮て、最後にゆでた大根葉を加えてひと混ぜする。



カメラの目

寒さを吹きとばせ

園児らマラソンやなわとび

寒さを吹きとばしてしまおう——と、村内の各保育園では毎朝、マラソンやなわとびをして体力をつけています。

園庭や近くの道などでマラソンをして体をあたたためてから、年長組は約20分、年中、年少組は10～15分間なわとびをします。

2月にはこの成果を競うなわとび大会が計画されており、どの子もいっしょうけんめいです。11月から始られ、今では二重とびやうしろとびのできる子もいます。この運動は来春2月ころまで続けられますが、寒い冬を元気に乗り切ってほしいものです。

写真はなわとびをする神土保育園児たち。

九月二十日、越原保育園の運動会で園児らが風船を飛ばしたところ、いっしょに付けていたメモをたよりに長野県方面から手紙が届きました。写真。

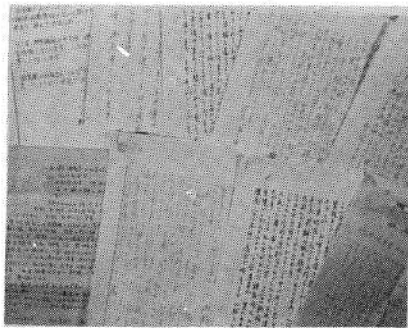
翌日着いたものや、一か月以上もたつて発見されたものなどまちまちですが、園児にとつてうれしい便りとなったようです。

とくに、上伊那郡の中村政司さんは、休耕田の中で一か月以上も経過し、文字のほとんどわからないものを根気よく調べて解明

し、お便りとともに信州リンゴを送ってくださいと聞きます。また、諏訪市の中洲保育園児たちとも親交が深まり、手紙のやりとりなどが続いています。

そのほか、南佐久郡の狩野つる子さん、伊那市の小沢敏子さん、それに付知営林署からもお便りがありました。

越原保育園のチビっ子たちは、さっそくお礼の手紙とともに花の種や自分たちが書いた絵などを送りました。



中村さん、狩野さん、小沢さんそして中洲保育園のみなさんとはその後も便りの交換が続いており、風船のイキな計らいに園ぐるみで感謝しているのとことです。

暮らしのカレンダー

※新春バスケットボール大会

- ・とき 1月2日 9:00～
- ・ところ 中学校体育館
- 中学校卒業年度別対抗です。どしどしご参加ください

※新春囲碁、将棋大会

- ・とき 1月3日 10:00～
- ・ところ 村民センター
- 初心者もふるってご参加を

※消防団出初式

- ・とき 1月7日 9:30～
- ・ところ 中学校々庭
- 全団員ご出勤ください

※小・中学校始業式

- ・とき 1月8日

※母親学級

- ・とき 1月13日 9:00～11:30
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 6～12か月児(56.2～7月生まれ)を持つ母親

※不燃物収集

- ・とき 1月14日
- ・ところ 各集荷場
- 金物、ガラス類に分けて前日の夕方、最寄りの集荷場へ出してください

※成人祝賀式

- ・とき 1月15日 10:00～
- ・ところ 村民センター
- 36.4.2～37.4.1生まれの78人が対象となっています。

※第8回こども会卓球大会

- ・とき 1月17日 9:00～
- ・ところ 中学校体育館
- 単位こども会別チーム編成で参加してください

※ふるさと教室

- ・とき 1月24日 9:00～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 小学校5年生
- 伝承行事を学習する予定です

※青年祭

- ・とき 1月31日 8:30～
- ・ところ 中学校体育館
- 青年団員による演劇発表のほか、民踊クラブや木せい会の民踊もひろうされます。一般の人も多数おでかけください